

(平成 30 年 2 月試験研究業務月報)

試験研究課題：地球温暖化に対応した京都府丹波黒大豆系品種の生産技術の構築

研 究

## 黒大豆エダマメ「紫ずきん 3 号」種子の安定生産に向けて

黒大豆のエダマメ『紫ずきん』は、大粒で独特の風味を持ち、美味しいことから需要が高い品目です。このため、生産が拡大しており、現在 3 品種のリレーにより 9 月上旬から 10 月下旬まで出荷されます。このうち 9 月下旬から 10 月上旬出荷の「紫ずきん 3 号」は、子実に裂皮粒やしわ粒の発生が多く、発芽不良の原因となることから、安定した種子生産技術の確立が急務となっています。

当センターでは、「紫ずきん 3 号」の成熟時の高温がしわ粒等の原因と考え、成熟期間の高温を回避することを目的に、通常のエダマメ栽培より 1 か月遅い 7 月に播種する遅播き栽培の試験を行いました。その結果、「紫ずきん 3 号」の種子発芽率が向上することが認められました。

今後、種子生産量を確保するため、さらに安定収量を得られる栽培法について検討を進め、生産に必要な対策技術の確立を目指します。



発芽調査の状況

シャーレ内に播種し、発芽・発根したもの（左）を計数する（右）